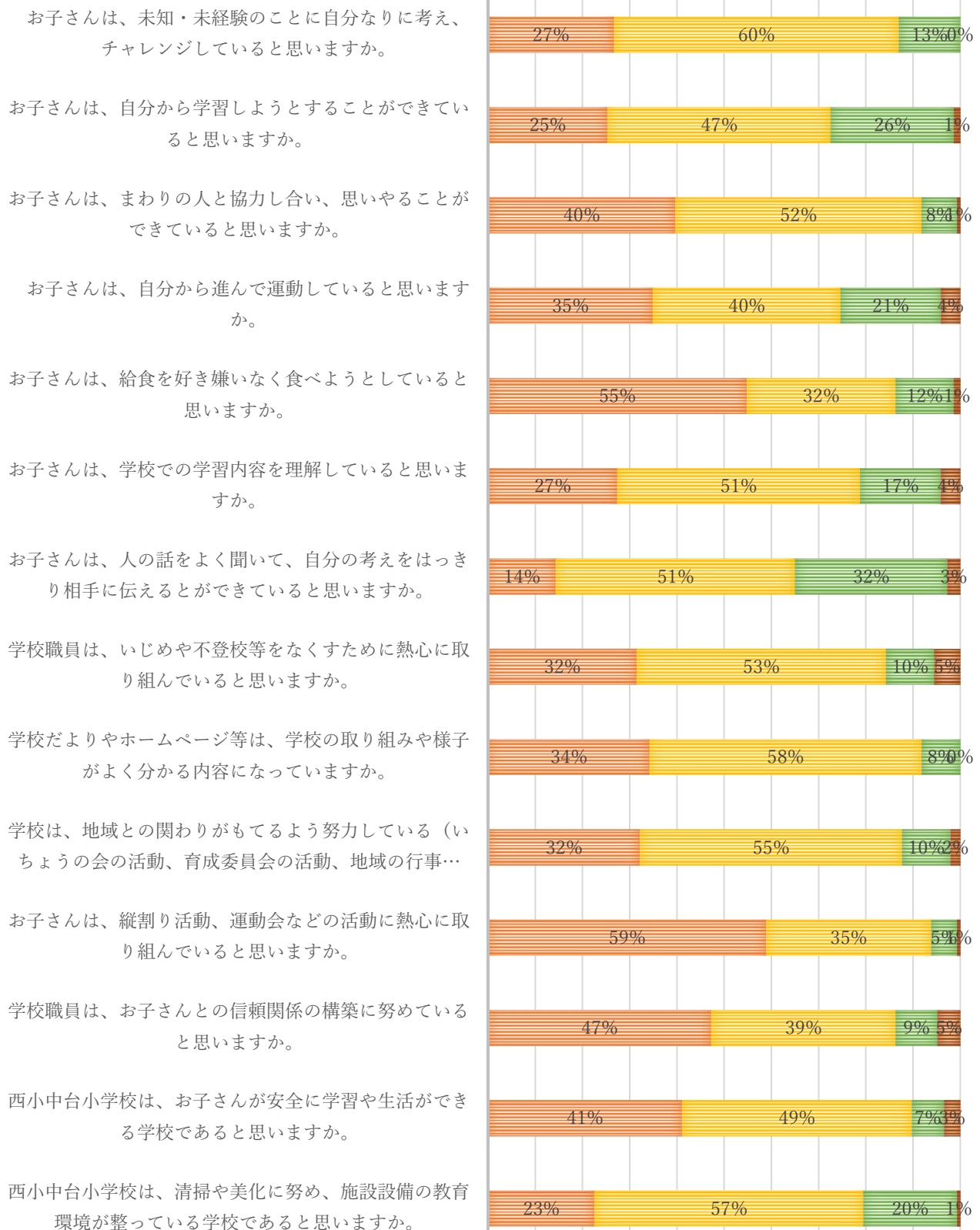


令和6年度保護者アンケート（前期学校教育評価）結果

■ そう思う
 ■ どちらかと言えばそう思う
 ■ どちらかと言えばそう思わない
 ■ 全く思わない
 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



調査日：令和6年7月12日（金）～7月26日（金）

回答数および回答率：146人/199人（73.4%）

14 項目中、10 項目で 80%以上の肯定的評価（そう思う、どちらかと言えばそう思う）をいただきました。その中でも、「子供たちが縦割り活動、運動会などの活動に熱心に取り組んでいる」（94%）「子供たちが、まわりの人と協力し合い、思いやることができている」「学校だよりやホームページ等は、学校の取組や様子がよくわかる内容になっている」（92%）「学校は、子供たちが安全に学習や生活ができる学校である」（90%）などの項目で特に高い評価をいただきました。何より、西小中台小学校が「安全に学習・生活することができる学校である」とのご意見をいただいたことは、職員にとっても大変励みになる結果となりました。今後も子供たちの体と心の安全を第一に、日々の教育活動を充実させてまいります。日頃より、本校の学校教育目標である「自ら学ぶ意欲をもち 心豊かで たくましい子供の育成」において目指す子供像である「基本的な生活習慣を身に付けた心豊かな子」を育むため、各学校行事や異年齢交流活動の充実を図りつつ、教育活動に取り組んでおります。アフターコロナにおいて児童相互の交流活動が以前のように実施できるようになったことで、子供たちは多様な人との関わり合いを通して自分のよさを見つけ、自己肯定感や自己有用感を高めることができたと考えられます。さらに、学校だよりやホームページ等も、寄せられたご意見を参考にできる限り学校での様子が保護者の方により伝わるよう今後も工夫を重ねてまいります。

一方で、「地域との関わりがもてるよう努力している（いちょうの会の活動、育成委員会の活動、地域行事等）」（R5 年度後期 94%→今回 87%）「学校は清掃や美化に努め、施設設備の教育環境が整っている」（R5 年度後期 87%→今年度 80%）など、前年度と比較して数値が低くなった項目も見られます。いちょうの会や地域行事等のお知らせにつきましては、昨年度より徐々に、主に「すぐる」を活用してお知らせをする形へと移行してまいりました。育成委員会主催の行事等もコロナ前の形に戻りつつありますので、子供たち・保護者の方々が地域とのつながりをもつ機会について、積極的に発信してまいります。また、校内の施設・設備等環境の改善についても、市教育委員会と連携を図りつつ修繕を進めてまいります。

前年度との比較では数値が上昇しているものの、「子供たちが自分から学習しようとすることができている」（72%）「子供たちは、自分から進んで運動している」（75%）「子供たちは、人の話をよく聞いて自分の考えをはっきり相手に伝えることができている」（65%）など、基本的な数値が低い項目については、今後も本校の課題として重点的に取り組んでいく必要があると考えられます。

学習や運動において、「親や教師から言われて行うのではなく、子供たちが主体的に取り組むこと」に課題があるととらえる保護者の方が多いようです。「学ぶことの良さ」「体力がつくことの良さ」を知ることや、自分自身の学力や体力が伸びていることを実感できることで、子供たちは主体的に取り組む意欲を高めていきます。特に、「自分自身に力が付いた」と実感するには、年齢の低い子供たちほど「身近な人に褒められ、認められること」が必要です。ぜひご家庭でも、他のお子さんと比較するのではなく、お子さん自身の伸びや頑張りを認め、積極的に褒めていただきたいと思います。10 年後すら予測困難な現代の世の中において、子供たちが自らの力で未来を切り拓き、幸福な人生を送ることができるようにするために、今学ぶことの必要性を私達大人が子供たちに感じさせてあげなければなりません。学校でも、主体的・対話的で深い学びを充実させるために授業改善や活動の工夫・支援の工夫に取り組んでまいります。

保護者の皆様からいただいたご意見を校内全教職員で共通理解し、西小中台小学校の子供たちのよりよい成長のために活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。